



シンポジウム デーノタメ遺跡が拓く縄文の世界Ⅲ

# 縄文の漆工芸 を科学する

令和2年2月24日(月・祝)

13:00~17:05(開場12:00)

北本市文化センターホール

※入場料無料・申込不要

【主催】北本市教育委員会

【後援】一般社団法人日本考古学協会・明治大学資源利用史研究クラスター

【問合せ】北本市教育委員会文化財保護課 Tel.048-594-5566



シンポジウム デーノタメ遺跡が拓く縄文の世界Ⅲ

# 縄文の漆工芸を科学する

デーノタメ遺跡は、1,200年にわたって営まれた縄文時代中期から後期（約5,000年前～約3,800年前）の遺跡で、特に中期の環状集落は関東最大級といわれています。

また、集落下の低地遺跡の調査では、多量の漆塗土器や植物遺体などが出土しており、集落と水辺空間がセットで残る貴重な遺跡として注目されてきました。

今回のシンポジウムではデーノタメ遺跡の特色である「漆」をテーマとし、最新の調査成果と今後のデーノタメ遺跡の活用について考えます。

## 【プログラム】

基調講演「デーノタメ遺跡から出土した漆器」 宮腰哲雄（明治大学名誉教授）

報告「発見された縄文の巨大集落・デーノタメ遺跡の魅力語る」 北本市教育委員会

「デーノタメ遺跡・漆塗土器復元塗り作業の記録 ―漆塗りの視線から―

小林恵美（漆工房Shara主宰）・北本市教育委員会

「デーノタメ遺跡がつなぐ世界 ～遺跡の保存活用～」 秋山邦雄（歴史環境計画研究所）

※プログラム・登壇者は予告なく変更する場合がございます

1 漆畑の風景（茨城県久慈郡大子町）

2 デーノタメ遺跡で出土した漆塗土器

3 小林恵美氏による土器の漆塗り作業

（再現文化財）

4 デーノタメ遺跡第4次発掘調査の作業風景

## パネルディスカッション

コーディネーター：阿部芳郎（明治大学教授） パネリスト：宮腰哲雄・小林恵美・秋山邦雄 他



令和2年2月24日（月・祝）13:00～17:05（開場12:00）

北本市文化センターホール ※入場無料・申込不要

【主催】北本市教育委員会

【後援】一般社団法人日本考古学協会・明治大学資源利用史研究クラスター

【問合せ】北本市教育委員会 文化財保護課 Tel：048-594-5566

【アクセス】北本市本町1-2-1

電車：JR高崎線北本駅西口 徒歩10分

お車：圏央道「桶川北本IC」より約3km